



～～山はみどり 野に花 人にはこころ～～

## 大井村庄屋古屋家

当家は江戸時代には商業を営み、天保元年から二〇年間ほど庄屋を勤めた家柄である。

この家は間口一五間（約二七m）、奥行二一間半（約六五m）の敷地で、街道に面した右側に表門があり、その奥に玄関・式台がつき、茶室に続いて一五畳二間続きの特別客室がある。この部屋は二室共に床の間と違い棚がつき、畳敷廊下の外が庭園に続く広大な屋敷であった。

母屋や塀は柱・梁・たる木も土壁で塗り、北側屋根に卯建をつけ、そのうえ北側の土塀は厚さ約、三〇cmの火防壁として、全体が火災予防の建築となっている。

恵那市・恵那市教育委員会

